

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 国際陶磁器フェスティバル美濃負担金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 地域産業課 地場産業振興係 電話番号：058-272-1111 (内 3094)

E-mail:c11355@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,500 千円 (前年度予算額：45,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	45,000	0	0	0	0	0	0	0	45,000
要求額	3,500	0	0	0	0	0	0	0	3,500
決定額	3,500	0	0	0	0	0	0	0	3,500

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・陶磁器産業は、日本人のライフスタイル・価値観の変化や安価な外国製品の流入など、市場環境は極めて難しい状況下であり、陶磁器文化、産業振興に寄与する施策が必要とされている。
- ・国際陶磁器フェスティバルは、地元4市(多治見市、瑞浪市、土岐市、可児市)が中心となり3年に1度開催する1大イベントであり、「国際陶磁器展美濃」、「産業・地域・文化振興事業」の2事業を柱としている。
- ・令和3年度(第12回)は、コロナ禍の中、前年度からの延期を経ての縮小開催となり、「国際陶磁器展美濃」のほか、「セラミックバレーと世界の陶磁器展」の2イベントのみの開催となった。
- ・本イベントを主催する「国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会」に県も参画し、開催経費の一部(負担金)を負担することにより支援を行う。
- ・次回(令和6年度開催予定)に向け、国際陶磁器展美濃を国際的に評価されるコンペティションにするため、継続的な取組みが実施できるよう、国際的なプロモーションや受賞者支援を切れ目なく行う。

(2) 事業内容

- 国際陶磁器展美濃
 - ・受賞者支援（グランプリ、金賞受賞者等への活動支援）
 - ・第13回国際陶磁器コンペティション開催に向けた準備
- 産業・地域・文化振興事業
 - ・セラミックバレー展の開催
- 広告・宣伝事業
 - ・ホームページのリニューアル
 - ・ヘレンド社（ハンガリー）との連携事業協力
 - ・海外陶産地との相互PR

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・第1回(1986年)以来、県及び地元3市等が開催経費を応分負担。

	第11回(H27-H29)	第12回(H30-R3)	第13回(R4-R6)
県	45,000,000	57,709,000	52,000,000
多治見市	58,604,667	72,606,834	65,708,333
瑞浪市	10,387,000	12,722,333	11,488,667
土岐市	16,008,333	19,818,333	17,803,000
可児市	0	5,643,500	5,000,000
計	130,000,000	168,500,000	152,000,000

※陶フェス21の負担金額をもとに、各団体で按分

(4) 類似事業の有無 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	3,500	実行委員会負担金
合計	3,500	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・長期構想
 - Ⅱ-1 モノをつくって、地域外からお金を稼ぐ地域をつくる
 - ・県産品のブランド力向上を支援する
 - ・県産品の市場を拡大する

(2) 後年度の財政負担

- ・地元が連携・協力して実施するイベントであり、県としても引き続き支援を行う。

(3) 事業主体及びその妥当性

- ・地元の主産業である陶磁器産業を支援するため、地元が中心となり実行委員会を組織し開催している。また、地元が過半の負担金を拠出し、民間の助成金等の活用も行われており妥当である。

事業評価調査（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 「美濃焼産業振興」「陶磁器文化振興」「地域振興」を目的に、「国際陶磁器展美濃」と「産業・地域・文化振興イベント」を開催し、ふるさと岐阜県の資源を活用した活力づくりを目指します。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3 年度 実績	R6 年度 目標	R9 年度 目標	終期目標 (R)	達成率
来館者数（単位：人）		18,137 ※18日間	200,000	200,000		%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	<p><令和3年度実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ○会 期：9月30日（木）～10月17日（日） 18日間 ○開催場所：セラミックパークMINO（多治見市東町） ○主 催：国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会 （多治見市、瑞浪市、土岐市、地元商工会議所・商工会、陶磁器関連団体、岐阜県等で構成） ○来場者数：18,137人 （国際陶磁器展美濃 10,629人、セラミックバレーとヘレンド展 7,508人） ○事業の内容 <ul style="list-style-type: none"> ①国際陶磁器展美濃 世界4大コンペティションのひとつ。過去最多となる64の国と地域から、2,435作品の応募があった。本展示会では、入賞・入選した178作品を展示。
-------	---

＜審査状況＞			
	全体		
		陶芸部門	陶磁器デザイン部門
応募作品数	2,435 (うち海外 1,673)	1,873 (うち海外 1,299)	562 (うち海外 374)
第1次審査通過作品数	279 (うち海外 156)	185 (うち海外 105)	94 (うち海外 51)
最終審査有効作品数 (辞退、未達を除く)	241 (うち海外 122)	159 (うち海外 83)	82 (うち海外 39)

②セラミックバレーと世界の陶磁器展
～美濃焼とハンガリーの名窯ヘレンド～

- ・陶磁器の産業と文化が息づく東美濃地域『セラミックバレー』を美濃焼の歴史と共に紹介する展示とともに、名窯ヘレンドを紹介する展示会を実施。
- ・セラミックバレーの展示では、地元民間企業等により発足したセラミックバレー美濃協議会を中心に、東美濃地域をセラミックバレーとして美濃焼や産業・文化の魅力を発信。
- ・ヘレンド展では、ヘレンド社の全面協力のもと、日本初公開の作品も展示。ヘレンドの歴史とともに飲食器やオブジェの名品を紹介しながら、欧州の歴史と文化を反映したヘレンドの技術力と芸術性をアピール。

指標① 目標：200,000人 実績：18,137人 達成率：9%

令和2年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

令和元年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	<p>陶磁器をテーマとした世界最大級のイベントとして美濃焼産業の発展、陶磁器文化の振興に大きな役割を果たしている。地元が連携して実施するイベントであり、県の支援も妥当である。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>美濃焼やその産地の販路開拓・PRの有効な場となっている。また、地域の住民が、世界から応募された先鋭的な陶磁器作品に身近で触れることができ、非常に有効なイベントと言える。</p>
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 1	<p>陶フェス開催期間中にその他のイベントを集中して開催することにより、イベント全体を効果的に連携させている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 フェス開催後、その経験を活かし次につなげていく取組みが必要。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 地元の開催意識の高いイベントであり、県としても引き続き、陶磁器産業・産地の活性化のため支援していく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	